

Ibaraki Association of Architects & Building Engineers

けんちく茨城

No. 85 July, 2014

[特集]

まちづくり委員会活動報告

「下妻市の歴史的建造物を
活かしたまちづくり」
ワークショップ報告

[報告]

平成26年度通常総会

[建築作品紹介]

筑西市立協和中学校



一般社団法人
茨城県建築士会

目次

	平成26年度通常総会開催される	1
[報告]	平成25年度収支計算書	2
	平成26年度収支予算書	4
	平成26・27年度新役員一覧 / 平成26年度事業計画	6
	まちづくり委員会活動報告① 下妻市民と士会会員117名が参加！ 「下妻市の歴史的建造物を活かしたまちづくり」 ワークショップ報告	7
[特集]	まちづくり委員会活動報告② 人気シリーズ第4弾出来！ 「常陸国のむかしの家 水戸街道・筑波編」	10
	[シリーズ]	先輩会員を訪ねて 小沼 富司氏、石川 信廣氏 インタビュー
[建築作品紹介]	筑西市立協和中学校	12
[トピックス]	西山荘復旧工事 修理・解体復旧・撤去、部分別に工事が進行中。	14
[会員委員会]	第17回会員美術展	15
[県央支部]	日本初の耐火木造大型商業施設 横浜「サウスウッド」を視察。	16
[石岡支部]	日本で唯一の建築様式「四方縣造り」を訪ねて、 千葉県長南町の「笠森寺」へ。	17
[日立支部]	ゴールの瞬間はいつでも最高です!! 支部の仲間5名で「さくらロードレース」に参加。	18
[青年委員会]	「くらづくり応援隊ワークショップ」開催 歴史的建造物を活かし、地域を生かす 桜川市真壁での取り組みから見えてくるもの	19
	[女性委員会]	ラブアークセミナー「暮らしのデザイン展 in いばらき 2014」 わくわくセミナー「真の省エネ住宅“パッシブハウス”を学ぼう」
[短期連載 第3回]	「ヘリテージマネージャー育成研修2013」体験記。	22

会報 **けんちく茨城**

題字 橋本 昌 茨城県知事

2014年7月 第85号

表紙写真 筑西市立協和中学校

設計・監理 (株)三上建築事務所
所在地 筑西市門井1803-7
建築面積 3,005.80㎡
延床面積 6,924.41㎡
構造・規模 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
3階建て
竣工日 2011年8月
撮影 堀内 広治

発行 平成26年7月4日(年3回発行)
次回発行 平成26年10月3日予定
発行部数 2,560部
発行所 一般社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸
〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2F
TEL.029-305-0329 FAX.029-305-0330
Eメール kyy05413@nifty.com
編集 情報・広報委員会
デザイン 有限会社平井情報デザイン室
印刷所 株式会社あけぼの印刷社



平成26年度 通常総会開催される

平成26年6月6日(金) 午後2時30分
茨城県立県民文化センター 小ホール
報告：情報・広報委員会

平成26年度通常総会(第63回)が6月6日(金)、県民文化センター小ホールにおいて開催された。

関根副会長による開会のことばの後、平成25年度に亡くなられた会員に対し黙祷が行われ、続いて柴会長があいさつ。平成26年度の主な事業としては、一昨年度から開催された木造建築構造技術者育成講座、ヘリテージマネージャー育成事業をそれぞれ継続するほか、木造の技術や知識を深めるため、特に若い建築士のための「いばらき木造塾」を6月より開始することなどが説明された。また、経済的な状況としては政権交代以来、明るい兆しが見え始めたこと、さらに、健全な会の運営のためには会員の増強が必要であり、特に若い会員の増強を実現させていく必要性などが述べられた。

功労者表彰では、長年にわたり士会発展のために尽力された功労者の久慈支部引田憲晋氏ら5名に表彰状が贈られたほか、県央支部故遠西信浩氏ら8名の物故会員に黙祷を捧げた。続いて、「いばらき木造住宅提案コンペ」表彰が行われ、打越芳男県木連会長より優秀賞他3点に表彰状が贈られた。

来賓祝辞では橋本昌県知事代理として茨城県土木部都市局長の澤田勝氏を始め、本会の顧問である衆議院議員田所嘉徳氏、県議会議員白田信夫氏、県議会議員伊沢勝徳氏よりそれぞれ祝辞をいただいた。

祝電披露の後議事に入り、平成25年度事業報告と収支決算、平成26年度事業計画案と収支予算案など4議案が審議され、原案通り全会一致で可決。さらに、議案

第5号として役員改選が行われ、会長に柴和伸氏が再任、副会長に市毛純一氏が新任されて、新役員が決定した。

総会は松山恒男副会長の閉会のことばにより閉会となった。当日は349名の出席と285名の委任状があり定足数に達していることを報告いたします。また、総会終了後は文化センターレストラン モンマルシェにおいて懇親会が開催された。

● 来賓の方々

茨城県知事代理 土木部都市局長	澤田 勝 様
衆議院議員 建築士会顧問	田所 嘉徳 様
水戸市長 建築士会顧問	高橋 靖 様
茨城県議会議員 建築士会顧問	白田 信夫 様
茨城県議会議員 建築士会顧問	伊沢 勝徳 様
茨城県土木部技監兼都市局建築指導課長	江原 秀明 様
茨城県土木部営繕課長	山田 茂 様
茨城県土木部都市局住宅課長	中村 浩 様
(一社)茨城県建築士事務所協会 会長代理 副会長	舟幡 健 様
茨城県木材協同組合連合会 会長	打越 芳男 様
日本建築学会関東支部茨城支所長	益子 一彦 様
(一社)日本建築家協会関東甲信越支部茨城地域会 会長	河野 正博 様
(一社)茨城県設備設計事務所協会 会長	菊地 繁 様
(一財)茨城県建築センター 理事長	野澤 謙次 様
(一社)茨城県建築士会 相談役	村田 省吾 様
(一社)茨城県建築士会 相談役	滑川 浩一 様
(一社)茨城県建築士会 相談役	田中 實 様

平成25年度収支計算書

自 平成25年 4月 1日

至 平成26年 3月31日

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異
入会金収入	入会金収入	入会金収入	190,000	179,500	10,500
会費収入	会費収入		33,006,000	32,285,200	720,800
		正会員会費収入	28,620,000	27,924,000	696,000
		準会員会費収入	486,000	511,200	△25,200
		賛助会員会費収入	3,900,000	3,850,000	50,000
事業収入			45,361,600	47,324,890	△1,963,290
	講習会収入		8,225,200	10,280,788	△2,055,588
		法定定期講習会収入	1,915,200	2,295,878	△380,678
		総合研修会収入	1,950,000	1,324,000	626,000
		研修講習会収入	4,360,000	6,660,910	△2,300,910
	図書等頒布収入	図書等頒布収入	7,500,000	4,856,378	2,643,622
	事業受託収入		19,320,000	23,125,274	△3,805,274
		試験受託収入	5,850,000	5,528,250	321,750
		調査受託収入	3,000,000	4,359,000	△1,359,000
		判定士認定業務受託収入	2,670,000	2,673,000	△3,000
		事務受託収入	800,000	1,620,024	△820,024
		耐震診断派遣業務受託収入	7,000,000	8,945,000	△1,945,000
	手数料収入	二級・木造建築士事務手数料収入	2,658,000	2,239,700	418,300
	委員会等事業収入	事業収入	7,658,400	6,822,750	835,650
補助金等収入			200,000	850,000	△650,000
	事業助成金収入		200,000	850,000	△650,000
		連合会助成金	200,000	850,000	△650,000
雑収入			6,925,000	7,957,098	△1,032,098
	受取利息収入		15,000	10,568	4,432
	雑収入	資料発送支部負担金収入	1,920,000	2,553,600	△633,600
		広告協賛金収入	4,660,000	5,055,000	△395,000
		雑収入	330,000	337,930	△7,930
事業活動収入計			85,682,600	88,596,688	△2,914,088

2. 事業活動支出

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異
事業費支出			43,476,300	42,034,581	1,441,719
	講習会費		4,240,000	5,376,729	△1,136,729
		法定定期講習会費支出	650,000	461,250	188,750
		総合研修会費支出	1,400,000	910,303	486,697
		研修講習会費支出	2,190,000	4,005,176	△1,815,176
	けんちく茨城印刷費支出		2,430,000	2,120,937	309,063
	情報通信普及推進費		470,000	46,000	424,000
	CPD制度推進費支出		324,000	220,775	103,225
	委託事業費支出		12,318,000	14,918,562	△2,600,562
		調査業務実施費支出	2,450,000	3,905,935	△1,455,935
		応急危険度判定士認定業務費支出	1,250,000	768,754	481,246
		耐震診断派遣業務委託費支出	6,500,000	8,191,388	△1,691,388
		試験業務実施費支出	1,550,000	1,539,561	10,439
		事務受託支出	568,000	512,924	55,076
	普及宣伝費		1,250,000	1,268,256	△18,256
		対社会の事業費支出	500,000	855,668	△355,668
		会員増強促進費支出	450,000	205,088	244,912
		広報費支出	300,000	207,500	92,500
	研修費		8,513,300	6,206,779	2,306,521
		研修費支出	1,600,000	550,712	1,049,288
		親睦事業費支出	6,913,300	5,656,067	1,257,233
	委員会費支出		1,920,000	1,176,097	743,903
	青年女性委員会活動費支出		3,151,000	2,192,297	958,703
	賛助会活動費支出		400,000	291,082	108,918
	助成金支出		1,250,000	918,200	331,800
	まちづくり活動費支出		2,280,000	2,386,029	△106,029
	出版事業費支出		2,930,000	2,965,907	△35,907
	地域貢献活動費支出		2,000,000	1,946,931	53,069

管理費支出		53,742,900	52,687,623	1,055,277
給料手当支出		21,856,000	21,220,080	635,920
	給料支出	16,380,000	15,886,475	493,525
	手当支出	5,476,000	5,333,605	142,395
中退金掛金支出		672,000	563,420	108,580
福利厚生費支出		3,976,000	3,620,908	355,092
会議費支出		3,415,000	3,371,745	43,255
	総会費支出	1,700,000	2,006,950	△306,950
	理事会費支出	900,000	678,570	221,430
	諸会議費支出	815,000	686,225	128,775
会計報酬支出		252,000	252,000	0
租税公課費支出		450,000	353,100	96,900
負担金支出		9,591,800	9,431,412	160,388
	連合会費支出	8,456,400	8,267,030	189,370
	関プロ会費支出	785,400	785,182	218
	団体会費支出	350,000	379,200	△29,200
旅費交通費支出		300,000	482,440	△182,440
通信運搬費支出		3,750,000	3,339,731	410,269
什器備品費支出		120,000	132,615	△12,615
消耗品費支出		980,000	1,443,731	△463,731
印刷製本費支出		650,000	752,671	△102,671
地代支出		378,000	378,000	0
慶弔費支出		2,250,000	2,324,306	△74,306
家賃支出		1,052,100	1,052,100	0
事務所共益費支出		800,000	783,900	16,100
機械借損費支出		2,300,000	2,341,236	△41,236
雑支出		950,000	844,228	105,772
予備費支出		2,058,199	0	2,058,199
事業活動支出計		99,277,399	94,722,204	4,555,195
事業活動収支計		△13,594,799	△6,125,516	△7,469,283

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異
特定資産取崩収入			0	0	0
投資活動収入計			0	0	0

2. 投資活動支出

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異
特定資産取得支出	積立預金取得支出		1,700,000	1,700,000	0
		運営資金積立預金取得支出	500,000	500,000	0
		70周年積立預金取得支出	500,000	500,000	0
		関プロ茨城積立預金取得支出	200,000	200,000	0
		災害積立預金取得支出	500,000	500,000	0
投資活動支出計			1,700,000	1,700,000	0
投資活動収支差額			△1,700,000	△1,700,000	0

III 財務活動収支の部

1. 財務活動収入

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異
財務活動収入計			0	0	0

2. 財務活動支出

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異
財務活動支出計			0	0	0
財務活動収支差額			0	0	0
当期収支差額			△15,294,799	△7,825,516	△7,469,283
前期繰越収支差額			15,294,799	15,294,799	0
次期繰越収支差額			0	7,469,283	△7,469,283

平成26年度収支予算書

自 平成26年 4月 1日

至 平成27年 3月31日

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	平成26年度予算額 (A)	平成25年度予算額 (B)	差額 (A-B)
入会金収入	入会金収入		220,000	190,000	30,000
会費収入	会費収入		32,550,000	33,006,000	△456,000
		正会員収入	27,960,000	28,620,000	△660,000
		準会員収入	540,000	486,000	54,000
		賛助会員収入	4,050,000	3,900,000	150,000
事業収入			44,612,000	45,361,600	△749,600
	講習会収入		10,100,000	8,225,200	1,874,800
		法定定期講習会収入	2,400,000	1,915,200	484,800
		総合研修会収入	1,230,000	1,950,000	△720,000
		研修講習会収入	6,470,000	4,360,000	2,110,000
	図書等頒布収入		6,545,000	7,500,000	△955,000
	事業受託収入		20,165,000	19,320,000	845,000
		試験受託収入	4,975,000	5,850,000	△875,000
		調査受託収入	3,040,000	3,000,000	40,000
		判定士認定業務受託収入	3,250,000	2,670,000	580,000
		事務受託収入	1,340,000	800,000	540,000
		耐震診断派遣業務受託収入	7,560,000	7,000,000	560,000
	手数料収入	二級・木造建築士事務手数料収入	2,150,000	2,658,000	△508,000
	委員会部会等事業収入	事業収入	5,652,000	7,658,400	△2,006,400
補助金等収入	事業助成金収入		200,000	200,000	0
		連合会助成金収入	200,000	200,000	0
雑収入			8,547,000	6,925,000	1,622,000
	受取利息収入		2,000	15,000	△13,000
	雑収入		8,545,000	6,910,000	1,635,000
		資料発送支部負担金収入	2,520,000	1,920,000	600,000
		広告協賛金収入	5,810,000	4,660,000	1,150,000
		雑収入	215,000	330,000	△115,000
事業活動収入計			86,129,000	85,682,600	446,400

2. 事業活動支出

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	平成26年度予算額 (A)	平成25年度予算額 (B)	差額 (A-B)
事業費支出			39,066,000	43,476,300	△4,410,300
	講習会費支出		5,640,000	4,240,000	1,400,000
		法定定期講習会費支出	500,000	650,000	△150,000
		総合研修会費支出	810,000	1,400,000	△590,000
		研修講習会費支出	4,330,000	2,190,000	2,140,000
	けんちく茨城印刷費支出		2,190,000	2,430,000	△240,000
	情報通信普及推進費支出		210,000	470,000	△260,000
	CPD制度推進費支出		170,000	324,000	△154,000
	委託事業費支出		12,310,000	12,318,000	△8,000
		調査業務実施費支出	2,600,000	2,450,000	150,000
		応急危険度判定士認定業務費支出	1,030,000	1,250,000	△220,000
		耐震診断派遣業務委託費支出	6,480,000	6,500,000	△20,000
		試験業務実施費支出	1,500,000	1,550,000	△50,000
		事務受託支出	700,000	568,000	132,000
	普及宣伝費支出		730,000	1,250,000	△520,000
		対社会的事業費支出	200,000	500,000	△300,000
		会員増強促進費支出	280,000	450,000	△170,000
		広報費支出	250,000	300,000	△50,000
	研修費支出		5,270,000	8,513,300	△3,243,300
		研修費支出	600,000	1,600,000	△1,000,000
		親睦事業費支出	4,670,000	6,913,300	△2,243,300
	委員会費支出		1,605,000	1,920,000	△315,000
	青年女性委員会活動費支出		1,931,000	3,151,000	△1,220,000
	賛助会活動費支出		270,000	400,000	△130,000
	助成金支出		1,800,000	1,250,000	550,000
	まちづくり活動費支出		1,280,000	2,280,000	△1,000,000
	出版事業費支出		3,760,000	2,930,000	830,000
		図書製本支出	1,550,000	950,000	600,000
		用紙費支出	0	10,000	△10,000
		幹旋図書費支出	2,150,000	1,930,000	220,000
		確認表示板費支出	60,000	40,000	20,000
	地域貢献活動費支出		1,900,000	2,000,000	△100,000

管理費支出		55,899,857	53,742,900	2,156,957
給料手当支出		21,366,000	21,856,000	△490,000
	給料支出	15,980,000	16,380,000	△400,000
	手当支出	5,386,000	5,476,000	△90,000
中退金掛金支出		516,000	672,000	△156,000
福利厚生費支出		3,600,000	3,976,000	△376,000
会議費支出		3,790,000	3,415,000	375,000
	總會費支出	1,660,000	1,700,000	△40,000
	理事会費支出	780,000	900,000	△120,000
	諸会議費支出	1,350,000	815,000	535,000
会計報酬支出		252,000	252,000	0
租税公課費支出		1,000,000	450,000	550,000
負担金支出		9,230,000	9,591,800	△361,800
	連合会費支出	8,110,000	8,456,400	△346,400
	関プロ会費支出	780,000	785,400	△5,400
	団体会費支出	340,000	350,000	△10,000
旅費交通費支出		700,000	300,000	400,000
通信運搬費支出		3,700,000	3,750,000	△50,000
什器備品費支出		140,000	120,000	20,000
消耗品費支出		1,450,000	980,000	470,000
印刷製本費支出		2,020,000	650,000	1,370,000
地代支出		378,000	378,000	0
慶弔費支出		2,300,000	2,250,000	50,000
家賃支出		1,036,000	1,052,100	△16,100
事務所共益費支出		800,000	800,000	0
機械借損費支出		2,315,000	2,300,000	15,000
雑支出		1,306,857	950,000	356,857
予備費支出		2,254,283	2,058,199	196,084
事業活動支出計		97,398,283	99,277,399	△1,929,116
事業活動収支差額		△11,269,283	△13,594,799	△2,325,516

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	平成26年度予算額(A)	平成25年度予算額(B)	差額(A-B)
特定資産取崩収入	積立預金取崩収入		5,000,000	0	5,000,000
		運営資金積立預金取崩収入	5,000,000	0	5,000,000
		70周年積立預金取崩収入	0	0	0
		関プロ茨城大会積立預金取崩収入	0	0	0
		災害積立預金取崩収入	0	0	0
	貸付金回収収入	長期貸付金収入	0	0	0
投資活動収入計			5,000,000	0	5,000,000

2. 投資活動支出

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	平成26年度予算額(A)	平成25年度予算額(B)	差額(A-B)
特定資産取得支出	積立預金取得支出		1,200,000	1,700,000	△500,000
		運営資金積立預金取得支出	0	500,000	△500,000
		70周年積立預金取得支出	500,000	500,000	0
		関プロ茨城積立預金取得支出	200,000	200,000	0
		災害積立預金取得支出	500,000	500,000	0
投資活動支出計			1,200,000	1,700,000	△500,000
投資活動収支差額			3,800,000	△1,700,000	△5,500,000

III 財務活動収支の部

1. 財務活動収入

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	平成26年度予算額(A)	平成25年度予算額(B)	差額(A-B)
財務活動収入計			0	0	0

2. 財務活動支出

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	平成26年度予算額(A)	平成25年度予算額(B)	差額(A-B)
財務活動支出計			0	0	0
財務活動収支差額			0	0	0
当期収支差額			△7,469,283	△15,294,799	7,825,516
前期繰越収支差額			7,469,283	15,294,799	△7,825,516
次期繰越収支差額			0	0	0

平成26・27年度新役員一覧

顧問	田所嘉徳	衆議院議員	川又晴彦	川又晴彦建築設計事務所
	白田信夫	茨城県議会議員	江原秀明	県庁建築指導課
	高橋靖	水戸市長	中野淳一	JR水戸設備部施設課
	伊沢勝徳	茨城県議会議員	大和田栄	コピキ工業(株)
相談役	田中實	(株)田中設計事務所	江口誠一	(株)江口工務店
	村田省吾	(株)偕アソシエイツ	久米恒雄	久米建築設計事務所
	滑川浩一	(株)竹中工務店 茨城営業所	森均	森建築設計事務所
	関根慎一	(株)関根工務店	小林澄夫	繁建築設計事務所
会長	柴和伸	(株)柴建築設計事務所	中山和朗	(株)中山工務店
副会長	松山恒男	多賀土木(株)	飯村純男	SI建築設計事務所(株)
	武村実	武村建築設計事務所	馬場明義	馬場建築設計事務所
	市毛純一	(株)市毛建築設計事務所	小谷野栄次	結設計事務所
専務理事	加藤繁治	(一社)茨城県建築士会	児玉欽司	(株)環境工作室
常務理事	菊池積	菊池設計工房	土井金哉	山王建材(株)
	高槻一雄	(株)高槻建築設計事務所	豊崎晋也	IBA建築事務所
	岡田一夫	岡田建築設計事務所	成田孝成	成田建築設計事務所
	赤木裕子	赤木裕子住宅設計室	飯島洋省	(株)飯島洋省 and HAND建築設計事務所
	久保田吉文	(株)クボタ建築設計事務所	平沼清美	(株)オーデック
	潮田充	(株)潮田建設	監事 上遠野正勝	
理事	篠原武司	(株)安心確認検査機構	遠藤洋三	
	木村千明	木村工務店	水口二良	水口・野村法律事務所
	棚谷哲夫	棚谷建築設計事務所	野澤謙次	(一財)茨城県建築センター

平成26年度事業計画

指導育成

01. 会員の増強及び組織の強化
02. いばらき木造塾の開講
03. 建築士試験の実施受託
04. 一級建築士免許申請事務の実施
05. 二級・木造建築士登録事務の実施
06. 建築士法第22条第2項による「定期講習」の実施受託
07. 建築士法第22条第4項による「全ての建築士のための総合研修会」の開催
08. 建築パトロール調査の受託
09. 木造住宅耐震診断士派遣事業の受託
10. 応急危険度判定士の更新及び登録事務の受託
11. 緑化推進事業(苗木配布等)の推進
12. 災害発生時支援活動の協力体制の充実と災害積立金の実施
13. 全国被災建築物応急危険度判定協議会への協力
14. 「まちづくり」事業の推進及び地域貢献事業の実施
15. 建築士の継続能力開発(CPD)制度の推進
16. 関東甲信越建築士会ブロック会青年協議会(東京大会)への参加促進
17. 建築士会全国大会(ふくしま大会)への参加促進
18. 建築士賠償・工事賠償責任補償制度への加入促進

19. 茨城県建築物安全安心実施計画への協力
20. 北関東ブロックにおける専攻建築士の登録及び受付
21. ホームページによる情報提供・広報の推進

調査研究

01. 建築士業務の適正運営の推進に関すること
02. 新規事業の企画・立案に関すること

情報の提供及び図書等の斡旋

01. 会報の発行・支部との各種情報の交換(会員への情報提供)
02. 建築確認申請・建築許可・都市計画法関係諸書式の頒布
03. 建築士受験関係図書その他参考図書の斡旋

国家褒章等

01. 国家褒章等の上申
02. 連合会表彰の上申及び功労者表彰
03. 会員増加優良支部の表彰
04. 建築優良作品の推薦

その他

01. 行政機関及び関係諸団体への協力
02. 本会の目的を達成するため必要な事業



今まで
気づかなかった建物が
たくさんあるね

古い建物を
いっぱい見つけて
おもしろかったね

特集
まちづくり委員会
活動報告①

下妻市民と士会会員117名が参加！
**下妻市の歴史的建造物を
活かしたまちづくり
ワークショップ報告**

まちづくり委員会初の試みとして、地域住民の皆さんと一緒に
まちの歴史的建造物の魅力を再発見するワークショップを開催。
100名を超える老若男女で楽しく下妻のまちを探検しました！

報告：情報・広報委員会 浅野 祐一郎



下妻のまちの
歴史的な建物を探しに
行きましょう！

1 オリエンテーション 10:00



光明寺本堂においてオリエンテーションを行ったあと、本堂境内から各班に分かれスタート!



アドバイザーの藤川昌樹氏(左)と金出ミチル氏(右)

2 まちなみ探検 10:30



市民と交流する意義

「下妻市の歴史的建造物を活かしたまちづくり」と題して身近な歴史的建造物の保存活用を考えるワークショップが、2月22日(土)に下妻市内にある親鸞聖人ゆかりの古刹・光明寺境内において行われました。

近年、まちなみを歴史的資産として捉え直し、現代のまちづくりに活かそうと取り組む地域が増えています。茨城県建築士会では、東日本大震災以降、歴史的なまちなみや建造物が急速に失われていくこ

とを危惧し、歴史的建造物の調査を行う専門家や伝統的な工法による修復などの技術を持った職人の育成を目的としてヘリテージマネージャーの育成研修を行っています。

その調査、活用提言の実習カリキュラムでは、下妻市街地の歴史的建造物の重要性が見出されました。そのような背景から今回は下妻市において市民と建築士会の会員が交流しながら歴史的建造物を活かしたまちづくりを提案することにより、イメージを明確化し、市民による継続的な「歴史まちづくり」の第一歩となることを目的として開

催されました。

8グループに分かれて探検

当日は市内外から親子連れや観光を兼ねた市民、士会会員合わせて117名が参加。募集人員100名を超える盛況ぶりでした。

出発前に本堂においてオリエンテーションが行われ、アドバイザーとして、筑波大学システム情報系社会工学域教授の藤川昌樹氏、歴史的建造物調査・修復家の金出ミチル氏も参加。藤川先生からは「観光地に行くとなんでもよく見る

3 グループごとにまとめ 13:30

4 発表会 14:30



門井歯科
の洋館です

外壁洗い出し
モルタルが
特徴です



幕末に
煙草問屋として
創業しました

現在は、
外山書店



築80年の
古民家を改装した
あかり家です



どの建物が
いちばん印象的
だったかな



写真で見学した
建物を
確認しよう



地図上で
見学ルートも
確認ね！



各グループごとに
発表です！



普段見られない
建物に入れて
おもしろかった



気づかなかった
下妻の良さを
発見しました



じつは六芳園
で結婚式を
あげたんです

が、普段の生活の中ではあまりよく見ていない。今日はよそ者の目でまちなみや建物を見てほしい」とアドバイスを受け、その後8グループに分かれてまちなみ探検に出発。

市民の視点が活かされる

大正12年に建てられた米国人宣教師の「ガーナー・ビンフォールド邸」は、木造2階建て、菱葺き屋根、外壁下見板張りの、朱色が印象的な住居でした。また、昭和2年に建てられた木造2階建て、延床面積117坪もある美しい個人住

宅「六芳園」は、早稲田大学大隈記念講堂を設計したことで知られる建築家佐藤功一氏が監修し、2年の歳月をかけて造られたといえます。そのほか数カ所の歴史的建物、下妻街道沿いのまちなみを見学し、再び本堂に集合。

昼食後は各グループに分かれ、見学してきた建物、まちなみの写真、感想をまとめ発表会。参加者からは「歩きながらあらためてまちを見てみると、普段では見えないいろいろなものが見えた」「普段では入ることのできない施設を見学できた」などの発表がありました。

また、「六芳園」は結婚式場に使われていたこともあり、参加した2名のご婦人から、その当時の思い出話を聞くこともできました。市民の目から見た下妻のいいところ再発見など、市民参加型ならではのワークショップとなり、有意義な一日となりました。

これが当日使った
まち歩きマップ！



特集

まちづくり委員会
活動報告②

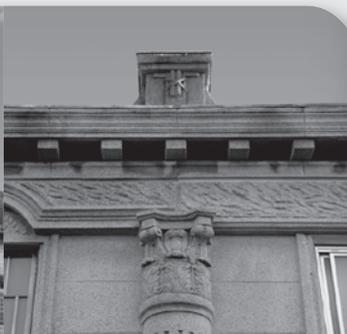
人気シリーズ第4弾出来！

「常陸国のむかしの家 水戸街道・筑波編」

昨年9月に実施した「まちなみ体感ツアー第4弾」の内容をまとめた冊子が無事完成しました。今回は、つくば市北条、土浦市、石岡市に残るむかしの家々を特集しています。その中身をちょっとご紹介。



石岡に今も残る数々の看板建築を紹介しているページです



平松理容店

内部装飾も秀逸。現在も営業。

昭和3年に建てられた理容店。現在も営業中。木造2階建ての看板建築。正面外壁はモルタル洗い出し。店内の保存状態もよく、三和土(たたき)に大銅屑(おがくず)を混ぜた床は大変珍しい。漆喰仕上げの天井には、コリント様式風のアカンサスの葉をあしらった天蓋や理容鏡、理容椅子など、昭和4年の大火を免れた建築当初の姿がよく保たれています。

すがや 化粧品店

ギリシャ神殿風の重厚さ

昭和5年頃に建てられた雑貨店(現在は化粧品店)。木造2階建ての看板建築。正面外壁はモルタル洗い出し。ギリシャ神殿を思わせる造りで、屋号を冠したペディメント、イオニア・コリント様式風の柱頭飾りなど、複数の特徴を取り入れて他に無い新しいデザインとなっています。重厚な外観はこの地区における看板建築の秀逸なるもののひとつです。

喫茶四季

特異な左右非対称のデザイン

昭和5年頃に建てられた2軒長屋の貸店舗(現在は1店舗喫茶店営業中)。木造2階建ての看板建築。正面外壁はモルタル洗い出し。コリント様式風の柱頭飾りや屋根に立ち上げた煙突風の突起物が3本あり、特異な造形を持っています。また、建物中心の柱型から左右が違うデザインになっており、向かって右側は四角い窓で左側はアーチ型の窓飾りになっています。

森戸文四郎 商店

窓枠上のレリーフが出色

昭和5年頃に建てられた飼料店(現在は生花店)。木造2階建ての看板建築。正面外壁はモルタル洗い出し、両端の柱型は褐色タイル貼り。窓枠上にあるレリーフ装飾が印象的で、縦長の窓など全体にアールデコ調の外観は、正面を洋風の意匠で飾る看板建築の好例です。

十七屋

美しいロンバル

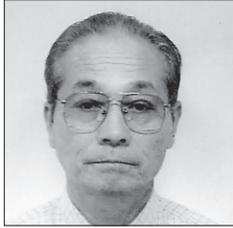
昭和5年に建てられた雑貨店(現在は生花店)。木造2階建ての看板建築。正面外壁はモルタル洗い出し、両端の柱型は褐色タイル貼り。窓枠上にあるレリーフ装飾が印象的で、縦長の窓など全体にアールデコ調の外観は、正面を洋風の意匠で飾る看板建築の好例です。昭和4年の大火後、再建され、建築の先駆けの建物です。



ほかにも、北条や土浦の「むかしの家」がたくさん登場しますよ！

「常陸国のむかしの家～水戸街道・筑波編」冊子をご希望の方は、建築士会事務局までお問い合わせください。

士会会員として長きにわたり活躍されてきた先輩方を訪問し、お話を伺うコーナー。第23回となる今回は、古河さしま支部の小沼 富司氏と、土浦支部の石川 信廣氏を訪問し話を伺いました。



「よく見ること、そして、たくさん経験することです」

小沼 富司 氏 (古河さしま支部)

昭和13年生まれ/昭和60年入会/会員歴29年

10年ほど前のこと、架構の素晴らしさに見惚れて足繁く通っていた近所の社殿が火事であって全焼してしまう。

その再建を引き受けた小沼さんは、みごと仕事をやり遂げ、事務所には落成式の写真が飾ってある。

大工に興味を持ったのは中学生のとき、学校の休みのときに父親について技術と知識を覚えていった。現在76歳、工務店を、今はご子息や奥様と営まれている。小沼さんは、よく見ること、たくさん経験することが大切であると、インタビュー中に何度もおっしゃる。

趣味は、「小さい頃からあこがれていた」という演劇からはじまり、日本舞踊(家元)、生け花(家元)、スポーツチャンバラ(師範8段で県指導者協会会長)、釣りは三宅島や御前崎・大洗などに出向くという。人は歳を重ねるとそれまでの自分であることに安堵してしまうものだが、小沼さんを見ていてそんな気がしないのは、きっと生まれながらの好奇心や、それを持続させる能力に長けているからだろう。庭先に置かれた「食用菊お持ちください」の看板に、まわりへの気配りも怠らない小沼さんのやさしさを感じた。(情報・広報委員会 加藤 誠洋)



「1票差で全国大会へ出られなかった悔しさも良き思い出」

石川 信廣 氏 (土浦支部)

昭和17年生まれ/昭和47年入会/会員歴42年

生まれも育ちも土浦市。大学で建築を学び卒業後就職。30歳のときに土浦へ戻る。建築士会への入会は土浦に戻った頃と記憶しているそうです。

建築士会での活動は、県の青年部長を木村利さんの後、3代目として昭和57年～58年までの1期2年間務め、その後平成14年～15年には、土浦支部長を1期2年間務められました。

現在は土浦支部の相談役として会の活動に貢献されています。

建築士会の思い出としては、青年部長時代において、関東甲信越ブロック千葉大会に茨城代表として参加し発表した結果、1票差で全国大会に出

られなかったこと、また、青年部時代にソフトボール大会へ参加し、野球の経験がなかったにもかかわらずいきなりピッチャーを任せられ、1回戦で敗れてしまい悔しかったことなど、良き思い出として残っているそうです。

現在もソフトボール大会は行われていますが、「このようなレクリエーションは士会の活動に活力を与え、特に若い方の活性化に繋がると思っていますので、続けてほしい」と願っておられました。

(情報・広報委員会)

筑西市立協和中学校

既存環境と良好な関係を保ちながら
次代に継承される「新たな伝統」を創出



撮影：堀内広治 (p12-13)

計画の方向性

協和中学校の敷地は南東に筑波山を望む田園の中にあり、5haという恵まれた広さを誇る。広々とした運動場、校舎と運動場の境に見事に育った樺の並木が、協和中学校の恵まれた環境を創り出していた。立地と歴史が創り出した環境を保全し、

- 敷地の広さを活かした土地利用を継承する
 - 広々とした現状のグラウンドの広さを維持する
 - 既存樹木を保全する
 - 既存施設との良好な関係付けを図る
- ことを前提とした。

計画の基本理念

- 単に校舎を新しくすることに留まらず、次代に継承するための新たな伝統を創出することを目指した。具体的には、
- 校内動線を整理し、安全で快適な

学校環境をつくる

- 既存施設との関係、インフラを活かすために、現状位置で建て替える
 - 次代を担う子どもたちの充実した学習・生活環境をつくる
 - 周辺環境と対応し、地域のランドマークをつくる
- ことを基本方針とした。

配置計画

既存の並木、校舎前の植栽を活用したプロムナードを形成した。既存の樺並木は、生徒や訪れる人を正門から校舎に誘導する役割を果たしている。同時に運動場ゾーンと校舎ゾーンを区分する土地利用上の明確な区画となっている。このような既存樺並木の役割をさらに引き立て、緑豊かな学校環境を活かすことを目的として、正門から体育館前まで210mにおよぶスペースを校内のリニアなひろばとしてのプロムナードと位置づけ、歩行者専用の場とした。

建替計画

現状の校舎の位置付近に配置した。2回建設・解体を行い、現状の運動場は十分な広さをもっていると同時によく整備されていることから、現況を最大限維持することとした。また、体育館や格技場などの既存施設は校舎改築後も使用することから、これら既存施設と改築校舎の結びつきを考慮した。さらに、校内に潤いを与えている緑は可能な限り保全することとした。これらのことから、工事を2期に分けることを前提として、改築校舎、既存校舎の位置近辺に配置することとした。

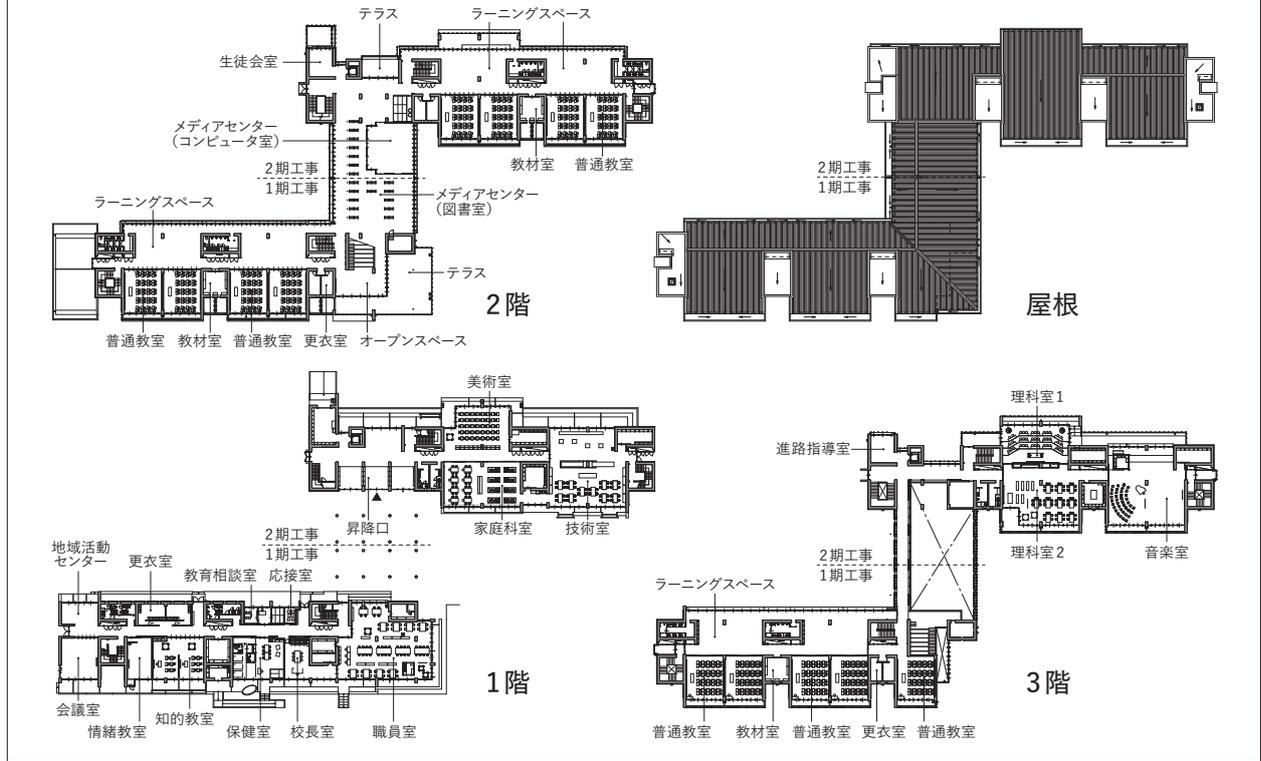
平面計画

メディアセンターを中心として、連続した学習空間を構成した。多様な学習空間の中心の場として、学校図書館・パソコン教室の機能を併せ持つメディア・センターを校舎の中央部分に位置付け、そのメディア・セン

筑西市立協和中学校

設計・監理 (株)三上建築事務所
 所在地 筑西市門井1803-7
 建築面積 3,005.80㎡

延床面積 6,924.41㎡
 構造・規模 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)3階建て
 竣工日 2011年8月



ターを中心として、そこからほぼ等距離の位置に3つの学年のゾーンと各特別教室を配置した。

構造計画

耐震要素を平面的・立面的にバランスよく配置し、全ての水平荷重(地震荷重)を負担させることとした。この耐震要素同士の間設ける床スラブを、必要最低限の鉛直方向部材にて支持する。これにより主要な教室は、耐震要素に拘束されることがなくなり、平面計画の自由度が高く、将来の改造等に対応しやすい構造体を造ることが可能となった。

設備計画

電気設備・機械設備ともに、系統分けされて建物各部に水・電力・通信などが供給される。それらの経路は縦経路によって上階に供給され、横経路によって当該階の各部に供給されることになる。これらの設備経路を建物内のインフラストラクチャー

と捉え、将来の更新を前提としたメンテナンス可能なスペースを確保し、設備経路も建物全体にほぼ均等に配置されるように、建築計画上のシステムを構成した。

シンプルにBEを構成し、階高を抑制すると同時に、設備のメンテナンスを容易にするために、大部分の内部各室に天井を張らない計画とした。配管やダクト、電気設備の配線ラックなどを内部空間に露出させ

て、不具合の早期発見を可能にすると同時に、天井材の解体・復旧をせずに、設備のメンテナンスや増設・更新を可能にした。配管やダクト、電気設備の配線ラックなどの設備経路は、内部空間に露出することを前提にして、整理された状態とした。また、構造体の梁も露出することになることから、構造計画においても内部空間と整合のとれた配置とした。



ラーニングスペース



メディアセンター(図書室)



オープンスペース

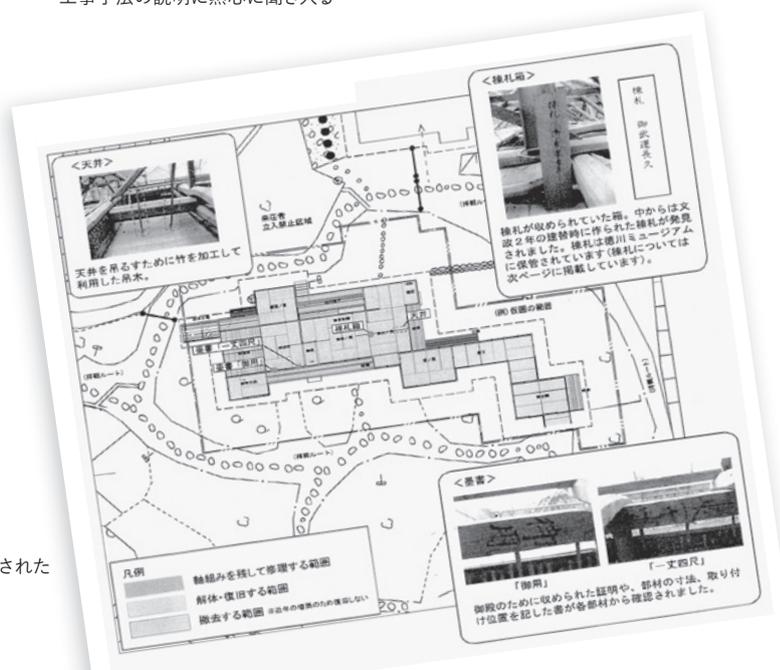


修理・解体復旧・撤去、
部分別に工事が進行中。

東日本大震災で被災した茨城県指定史跡「西山荘」(常陸太田市)。大震災により建物は傾き、土壁も亀裂が生じ、基礎となる礎石もずれるなど、復旧工事が必要となり、災害後2年に及ぶ調査と準備を経て、約40年ぶりの災害復旧工事が昨年7月より開始されました。今回は前回に続き2回目のレポートとなります。御殿本体は軸組を残して修理する部分、解体・復旧する部分、撤去する部分に分別され工事が進み、基礎部分となる礎石は基礎廻り補強後に揚屋工事が行われ、傷んだ束柱の交換、礎石の据え直し、水平調整などが行われました。木工事においては柱軸の倒れの修正、傷んだ木材の除去と修理、床組などが行われています。屋根工事においては垂木竹、屋中竹等の工事が行われ、今後は茅葺き、壁下地組、土壁等の仕上げに入り今年の秋頃には工事完了予定となっています。また、今回は1月28日と2月18日の両日に分けて「いばらき地域文化財専門技術者育成研修(ヘリテージマネージャー)」のメンバーによる見学会も実施されました。



工事手法の説明に熱心に聞き入る



復旧工事に関する詳細な資料も配布された

第17回会員美術展

平成26年3月25日(火)～3月31日(月) 県立図書館



今年度は、県立図書館を会場に会員美術展を開催。たくさんの会員から力作の数々が出品されました。出品者と作品名をご紹介します。

「会員美術展」展示作品提供者一覧(敬称略)

【洋画】●市川三和子(久慈支部)「贈り物1」(F3号)、「贈り物2」(F3号)、「贈り物3」(F3号) ●増澤敬(県庁支部)「いやしの時」(F8号) ●大槻薫(県央支部)「Metro」(F20号)、「未知なるもの」(F50号)、「鯉」(B4)

【水彩画】●守田義広(県央支部)「朝焼」(F4号)

【日本画】●藤田信行(県央支部)「高原の初夏」(P50号)、「富貴花」(F20号)、「赤い実」(F10号)

【書】●青山孝夫(土浦支部)「秋の野に 伊藤左千夫のうた」(額装) ●柳下文江(県央支部)「条幅(唐詩)」

(軸装) ●篠根玲泉(県央支部)「条幅」(軸装)

【写真】●浅野利光(県庁支部)「プラハの夕暮れ」(半切)、「輝く殿堂(ブタペスト)」(額装) ●平沼清美(県央支部)「ふたつの顔」(全紙)、「如意輪観音」(全紙)、「新国立美術館」(半切)、「石の美術館」(半切)、「晩秋」(四つ切)、「ご祈念」(四つ切) ●木村忠夫(県庁支部)「不動明王立像」(A4)、「釈迦如来座像」(A4)、「弥勒摩崖仏」(A4)

【CG】●金子英三郎(県庁支部)「CG-17」(A4)

【陶芸・工芸等】酒井順子(土浦支部)「花器」(140×140×250) ●高橋せつ子(鹿島支部)「圓情花歌舞伎(押花)」(805×622)、「おひなさま(押花)」(330×530)

●五十君智子(土浦支部)「ビーズアクセサリー」(コルクボード 250×400)



日本初の耐火木造大型商業施設 横浜「サウスウッド」を視察。

横浜「サウスウッド」にて

日増しに春らしくとは言えまだ朝は寒い3月8日(土)、恒例の施設見学会の一行が6時30分に総合運動公園から出発しました。年度末の土曜日、渋滞を覚悟しての長旅のスタートです。都内を通り抜け10時に横浜「サウスウッド」到着。竹中工務店のご担当者が迎えてくださり、貴重な資料を配布いただき、説明と同行案内をしていただきました。日本初の耐火木造建築物の混構造の大型商業施設です。団塊ジュニア世代の人口増加が著しい活気あふれる商業激戦区に昨年10月、オープンしました。そこからアクアラインに乗り、海ほたるパーキングエリアにて一時東京湾を眺めながらのトイレ休憩を経て、いよいよ対岸の千葉県に到着です。首都圏最大級といわれる「三井アウトレットパーク木更津」は、エントランスの壁面緑化が印象的な環境共生型アウトレットモール

です。ここでそれぞれに昼食や買い物休憩を取り、約2時間のコミュニケーションタイムとなりました。

その後移動して、3時過ぎに「市原湖畔美術館」に到着です。既存の骨格を生かし、あえてコンクリートをむき出しにしてモダンに再生した美術館です。曲線の回廊や屋上の竹のモチーフ等が目を引きました。近接の高滝湖や、廻りの敷地にくつものアートが何気なく存在し、敷地すべてが美術館として表現されていました。

帰路は、東関道から北関東道路を経て茨城町西で高速を降り、運動公園に戻って心地良い疲れを感じながら解散したのは8時半過ぎになりました。今後とも事業委員会としては、有名建築家の作品、話題の建築物、記録的な建築物等魅力のある見学会を計画していきます。ぜひ皆様の参加をお待ちしています。



日本で唯一の建築様式「四方縣造り」を訪ねて、 千葉県長南町の「笠森寺」へ。

大多喜城にて

本年度の石岡支部の視察研修は、3月9日(日)に千葉県長南町笠森寺と大多喜町の街並みを16名で見学してきました。

笠森寺は、国の天然記念物に指定された自然林の中にあり、大岩の上にそびえる観音堂は、61本の柱で支えられた四方縣造りと呼ばれる構造で、日本で唯一の特異な建築様式であり国の重要文化財です。現在の建物は文禄年間(1592～1595年)の再建とされ、75段の階段を上った回廊からは、房総の山々を眼下に眺めることができ、その景観は一見に値します。

いすみ鉄道や大多喜城で有名な大多喜町は、徳川四天王の一人本多忠勝が築城した歴史を持ったまちです。江戸時代から変わらぬ城下町のたたずまいを残す建物が点在しています。

当日は、大多喜町・城下町案内人(陣笠に陣羽織袴姿)と案内人勉強中という女性二人と一緒に約2時間街中を歩きました。江戸時代の豪商、渡辺家(国指定重要文化財)や町役場(1959年日本建築学会賞、2013年ユネスコアジア太平洋遺産賞)、大多喜小学校(1997年千葉県建築文化賞)などを

見学してきました。

大多喜町は平成12年度より「まちなか整備事業」が始まり、まちの角々にポケットパークが整備され、道案内の標識看板が昔風に統一されています。ハード・ソフト両面とも外から来た人を温かく迎え入れてくれる、親切なおもてなしを感じました。



笠森寺にて



大多喜町の渡辺家(国指定重要文化財)にて



日立支部として、4月6日(日)に行われた『さくらロードレース』に参加しました。

『さくらロードレース』は、親子1.8km・5km・10km・ハーフマラソンと種目も多く、自分の力量(やる気?)で距離を選択できるため、かなり参加しやすい大会です。今年は、ちょうど桜が満開であったため、スタート直後は、満開の桜並木の下を気持ちよく走ることができました。

じつは、日立支部での参加は3年ぶりとなってしまいました。近年のマラソンブームにより、参加人数が多くなってしまい、人数制限により、エントリーできなかったのです。

今回は、5km—3名、10km—1名、ハーフ—1名と、計5名の参加でしたが、皆それぞれのペースで楽しみました。走っていると、個人個人でそれぞれに楽しみ方が違うのだと解ります。一生懸命に辛そうに走っている人、にこやかに散歩でもしているような人、記念写真を撮りながらの人、仮装している人までいました。

建物の好みも人それぞれのように、「私たちの仕事とも、共通するものがあるな!」とか、ときおりまじめに考えながら走って、ゴールまでたどり着きました。何回走っても、ゴールの瞬間はいいものですよ。皆さんも機会があれば、ちょっと勇気をだしてチャレンジしてみてください。



地質調査全般・測量・さく井工事 常磐地下工業株式会社

茨城県地質調査業協会会長

代表取締役 伊藤美智子

本 社: 〒317-0056 茨城県日立市白銀町2丁目24-11
TEL0294-22-8196 FAX0294-22-9852

城南営業所: 〒300-4231 茨城県つくば市北条228-4
TEL029-867-3096 FAX029-867-3288
E-mail: info@jyouban.co.jp

「くらづくり応援隊ワークショップ」開催

歴史的建造物を活かし、地域を生かす
桜川市真壁での取り組みから見てくるもの



「旧真壁町の震災で壊れた文化財建造物をみんなの力で直しませんか?」と題して、桜川市真壁地区の旧高久邸にて、「くらづくり応援隊ワークショップ」が開催されました。参加者は、小山工業高等専門学校建築学科及び真壁高校の学生・生徒のみなさん、地域の小学生、地元の工務店、桜川市役所のみなさん、そして茨城県建築士会青年・女性委員のメンバーと、産学官民にわたっての合同企画となりました。

第1回(2月):竹割り、小舞掻き(ひな祭り開催中)

第2回(3月):小舞掻き

第3回(5月):小舞掻き

第4回(6月):土壁塗り

の全4回行われ、この活動を通して、以下のような成果があったのではないかと考えています。

○社会への建築士(会)のPR

第1回をひな祭り開催中に行ったことにより、より多くの一般の人々と関わりが持つことができ、また広報誌の表紙などに取り上げられ、地域での建築士活動のアピールとなった。

○会員の専門知識の向上

本来の目的である、伝統工法の学習・知識向上と研鑽の場となった。

○活動を通しての交流・建築への興味

学生や地域の子供たちとの活動により、将来職業

を選ぶ上での選択肢のひとつとして、建築士の魅力を発信することができた。

○行政と同じ目標を持った活動

地域づくりという同じ目標・目線を持った活動を意識することができた。

青年女性委員会では、このように、今残っている資源を、資産として未来につないでいくことが大切であると考え、引き続き企画をしていきたいと思います。皆さんの積極的な参加をお待ちしています。



小舞下地に土壁を塗る。大人も子供も夢中で作業。



桜川市の広報誌の表紙になりました!



ラブアークセミナー
「暮らしのデザイン展 in いばらき 2014」

水戸プラザホテルにて

平成26年2月27日(木)水戸プラザホテルにて「暮らしのデザイン展 in いばらき 2014」が開催され、ラブアークセミナーでは、特別講演会「新しい省エネルギー基準における住宅設備のあり方について」への参加と、展示見学会を行いました。

講演会後の感想を、二つご紹介します。

「具体的な認定申請方法、及び技術基準についてももっと勉強したくなりました。(o)」

「快適性を求めつつ、省エネルギー基準を満たさなければならないことが説明されていて、良かったと思います。これから設備を勉強しなければいけないと思いました。(m.k)」

展示見学会も活況で、テーマ展示「イマドキ親子の暮らしと住まいの形と提案」の、子供部屋BOX、お手伝いキッチン、LDKなど…またスマートハウス(エネファーム、エコウィル、蓄電池他)、最新ガス機器、保安、天然ガス他、盛りだくさんで、ホテルの豪華な絨毯と照明の中、コンランショップの腕時計もいただき、大変勉強になった有意義な一日でした。



セミナー風景



展示見学会



わくわくセミナー
「真の省エネ住宅“パッシブハウス”を学ぼう」

わくわく史上最多の55名が参加！

2月のわくわくセミナーは、「真の省エネ住宅“パッシブハウス”を学ぼう」ということで、(一社)パッシブハウス・ジャパンの代表理事である、森みわ氏に講師をお願いしました。森氏は、ドイツやアイルランドでの勤務経験を通して省エネ住宅を学び、日本におけるパッシブハウスの第一人者として活躍されている方です。

森氏のことを知ったのは約3年前。日本国内のパッシブハウス第2弾として、石岡市にできた「茨城パッシブハウス」の完成見学会&講演会に参加させてもらったときです。それから、何棟ものパッシブハウスを完成させた森氏のお話は、自信に満ち溢れ、さらにパワフルになっていて、圧倒されました。

特に印象に残ったのは、白くまの皮膚からヒントを得て作ったという外断熱用のパネルについて。太陽高度の低い冬の時期だけ外壁のコンクリートに熱を伝え、夏の時期は、外断熱材として日射を反射し、室内に熱を伝えないというものでした。既製品にとらわれずに、まったく新しいものまで

開発してしまうなんて…と刺激を受けました。

今回は55名の参加者でしたが、わくわくセミナー史上最多人数と聞き、嬉しく思いました。事務局を始めご参加いただいた皆様にも、準備や片付け等お世話になり、本当にありがとうございました。



森みわ先生



森先生の著書

「ヘリテージマネージャー育成研修2013」体験記。

かねてから歴史的建造物に深い愛情と情熱を寄せてきた情報・広報委員会の加藤 誠洋委員が、「ヘリテージマネージャー育成研修2013」を受講し、研修の様様とその意義を3回にわたりお伝えします。

2013年度ヘリテージマネージャー研修の後半はグループ毎、実際に建物を「探し」「調べて」「発表する」課題が出されます。

それまで研修を通し得た歴史的建造物に関する知識や問題意識がどの程度身に付いているかが試されるとともに、今後ヘリテージマネージャーとして地域の文化財建造物やまちなみに関して“牽引役”となるための、いわば卒業試験。

そんな試験に私たちのグループが挑んだのは、存在を知られていなかった海に近い高台に建つ元別荘として使われていたたてもの。

グループ内の大工さんが「親方から聞いて」ということからして今回の研修にとってとても重要なことで、そんな些細な情報は地元でなくては漏れ落ちてしまう。

ヘリテージマネージャーが地域の文化財を発見し、守り、育てることを目標にしていくのならまさにこれこそヘリテージの仕事でしょう。

たてものについての詳細は、個人所有ということもあって詳しくは割愛しますが、実測や聞き取り調査をふまえて、じつにたくさんのことが判明しました。

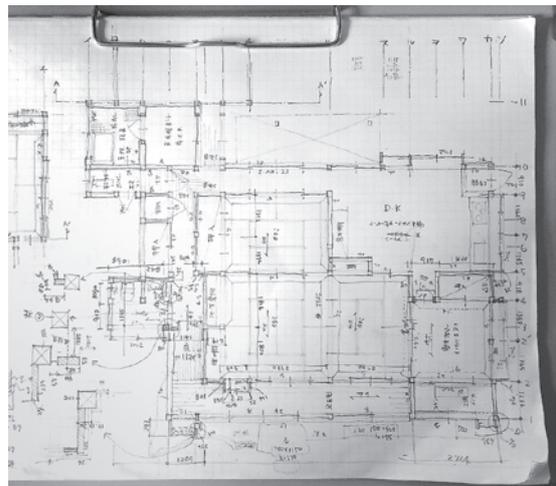
意外にもそこから100キロはなれた場所との関係が明らかになったり、彼の地の関係者とコンタクトをとったりたてものに歴史が重ねられていく場面に遭遇することになります。

結果は最終回にプレゼンテーションをするとともに

当日講義をされた講師の先生（今回は東京芸術大学教授上野勝久先生）に報告書をその場で添削していただける！という特典がつかます。

さて地域の文化財について知識と実地体験を終えた私たちですから、「さあ、明日から専門家としてみんなを引っ張って」といかないのは、この世界が経験を必要とするからですが、なによりちいさな文化財の大切さを学んだヘリテージマネージャーが県内各地に確実に増えているのは、喜ばしいことです。

そしてぼんやりと、「見る」「発見する」「調べる」「守る」がヘリテージ研修で学んだことだとすると、「使う」「伝える」を付け加えて行動をしていくことが必要ではないでしょうか。



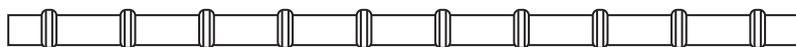
調査野帳には驚くほどたくさんの情報が詰まっている



HOKUYU

杭基礎の専門メーカー

株式会社 北雄産業



本社 札幌市豊平区豊平4条9丁目2-18 北雄ビル
 東京営業所 東京都江東区亀戸8丁目2番2号 やまとビル203
 東茨城工場 茨城県小美玉市小岩戸 1796-19
 茨城営業所 茨城県小美玉市西郷地 1103

TEL 011-824-0111
 TEL 03-3636-1811
 TEL 0299-48-0043
 TEL 0299-48-0043

信頼を築く…… 総合建設業 ISO 9001 認証登録



株式会社

白土工務店

代表取締役社長 白土 仙一郎

本社/日 立 市 多 賀 町 5 丁 目 8 - 1 3
TEL0294-33-1014 FAX0294-33-1944



現場実習



水戸市民会館計画案模型



14 水戸市活性化プレゼン



3DCAD(旧が 仁 跡地利用案)

素直だから「伸びる力」

文化デザイナー学院では模型・3DCAD を操りプレゼン力・表現力を備えた学生を育成しています。
住空間やショップディスプレイなど空間デザインを学び、業界で活躍できる人材を目指します。

学校法人
リリー文化学園

専門学校 文化デザイナー学院

〒310-0026 水戸市泉町 1-3-22 TEL 029-303-1010 FAX 029-224-6108
<http://www.bunka-gakuen.ac.jp>

インテリアデザイン研究科



1年間で資格取得を目指す

二級建築士コース又はインテリアコーディネーターコースを選べます。それぞれの就職先に合わせた資格取得とデザイン制作を行い、自信をつけてインテリアデザインを仕事にできます。もちろん、就職活動も完全サポートします。

●対象：高卒(同等)以上、二級建築士受験資格取得者。

和知商事株式会社

ALC・杭・地盤改良・耐火被覆・金属屋根・OAフロア・パーティション・
太陽光発電・雨水貯留・屋上緑化・壁面緑化・インターロッキング・平板



URL <http://www.wachisyouji.co.jp>

——— 本 社 ———

〒310-0013 水戸市若宮1丁目2番7号
TEL (029) 224-6361(代) FAX (029) 224-6504

——— つくば営業所 ———

〒305-0061 つくば市稻荷前8-1布川ビル2F
TEL (029) 856-8660(代) FAX (029) 856-8749

建築を息づかせるもの

建築は、

- その存在を象徴するロゴやシンボルマーク
 - 空間構成の伝達や導線を担うサインシステム
 - そこでの活動を効果的に伝える各種メディア
- などを得ることにより息づきはじめると私たちは考えます。

「わかりやすく、魅力的に」をモットーに。
私たちの仕事は、人と建築を結びます。

有限会社

平井情報デザイン室

茨城県水戸市笠原町 600-17
朝日ビル 206 〒310-0852

TEL 029-291-5899[担当:平井]

FAX 029-305-5257

n.hirai@info-design.co.jp



HIRAI INFO-DESIGN STUDIO
Consultants in Visual Communication

未来へつなぐ誠意と技術

特定建設業



株式
会社

小國工務店

代表取締役 小 國 保

専務取締役 小 國 裕 一

本社／北茨城市平潟町1126-74
TEL0293-46-5225 FAX0293-46-6666

特定建設業



熊田建設株式会社

代表取締役 熊田 昭二

〒316-0001 日立市諏訪町1丁目12番26号
TEL : 0294-33-0360 FAX : 0294-35-0052

特定建設業



SAKOH

サコー建設株式会社

代表取締役 迫 祥三郎

ISO9001



〒 319-1541
本社 茨城県北茨城市磯原町磯原 1931-7
TEL 0293-42-1286 FAX 0293-43-3890
出張所 茨城県水戸市川又町 269
TEL 029-26-5910 FAX 029-269-5910

買う人 × 借りる人 × 貸す人
すべての人に嬉しい家、できます。



戸建賃貸住宅

casita

[カシータ]

詳しくは web で。

資料請求、お問い合わせは
こちらまでお気軽に！



0120-355-347

建設業許可番号 / 茨城県知事登録 (特-22) 第 19313 号

日立市多賀町 2-4-6 株式会社 **ジュンホーム**

豊かさへのかけはし



品質保証の国際規格 ISO 9001 認証登録

ISO9001認証登録



JQA-QM5986

総合建設業 **多賀土木株式会社**

代表取締役社長 **松山 昭彦**

本社 / 日立市東多賀町 2-2-3

TEL 0294(36)0111

FAX 0294(32)0040

高萩営業所・ひたちなか出張所

丹

(株) 丹工務店

代表取締役 **丹 誠一郎**

北茨城市関南町仁井田109

TEL 0293-46-0307

FAX 0293-46-5276

総合  建設業

国土交通大臣許可第905号

日興建設株式会社

代表取締役社長 菊池 智

本社／高萩市安良川915-4
☎0293(23)3711(代) FAX0293(22)5259
支店／千葉・水戸・日立
出張所／北茨城

豊かで夢のある空間創りをめざして

総合建設業 ISO9001 認証
国土交通大臣許可 第713号



日立土木株式会社

代表取締役社長 沢畑 正剛

本社／日立市幸町2-18-5 ☎0294-22-2121(代)
支店／水戸
営業所／いわき・北茨城・東海

Fujiwa

選択の時代、住まいの個性化に挑む

総合建設業
一級建築士事務所

藤和建設株式会社

代表取締役 三 澤 俊 介
一級建築士

本 社 / 日立市鹿島町3丁目5-2 TEL 0294-21-0067(代)
工 場 / 日立市東大沼町1-1-22

建築物の足もとを揺るぎない ものにするための 「支持力」を提供します。

(営業品目)

パイル製品：高支持工法に対応 Fc=105N/mm² Fc=123N/mm² シリーズ杭
(PHC ST SC PRC 拡頭杭 節杭 ※厚型・特厚型も対応)

PHC ST SC DAM BF (摩擦杭) その他

認 定 工 法：HYBRIDニーディング工法 ($\alpha=336 \sim 880$ ※設計拡径比=1.2 ~ 2.0)

※引抜き方向支持力 業界初評価

SUPERニーディング工法 (さらに支持力が大幅UP! $\alpha=600$)

SUPERDANK工法 (中堀) $\alpha=425$

ニーディング工法 DANK工法 (中堀) BFK工法

※ 設計のお手伝いもいたします。(是非お試しください)

<http://www.m-sekisan.co.jp/>

三谷セキサン株式会社

茨城営業所 茨城県水戸市大町3-1-26 TEL 029-221-7768

FAX 029-221-7749

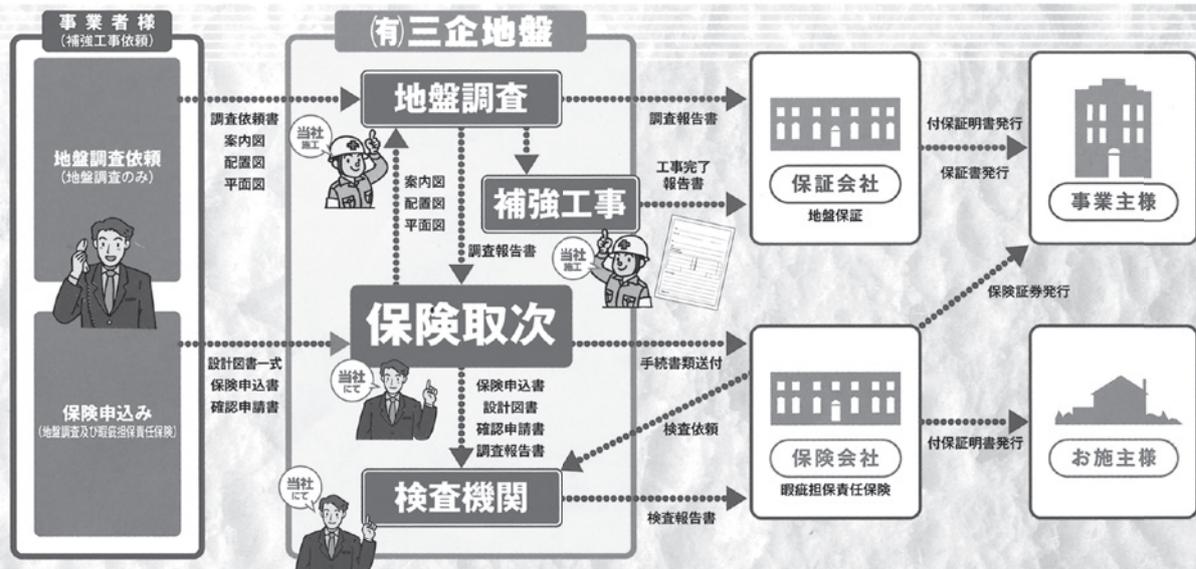
地盤調査はされましたか？

地盤大丈夫ですか？

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、地震による地盤沈下や地割れにより多くの建物被害がでました。砂地盤においては、液状化現象により地盤が支持力を失い、基礎としての役割を失い重い建物や構造物が沈下したり傾いたり、また地中にある重量の軽い浄化槽などが浮上するといったこともありました。当社では、地盤の調査から改良工事、そして保険取次ぎまでをご提案させていただいております。

当社におまかせ下さい!!

地盤調査・改良・保険取次



地盤調査

当社はJIS-A1221に規定された地盤調査方法(スウェーデン式サウンディング試験)を実施しております。また、地盤保証、地盤サポートシステム等の各会社と提携しております。

補強工事

地盤調査の結果に基づき、各地盤補強工事の見積り作成や自社施工機械による補強工事(表層・柱状・鋼管杭)を実施しております。

保険取次

「住宅瑕疵担保責任保険」の保険取次、各種検査を実施しております。JIO(日本住宅保証検査機構)の検査機関及び取次ぎ店です。申請・検査内容等円滑な手続きに対応いたします。

地盤調査・改良・保険に関するお問い合わせは
サンキジバン

地盤の
トータルプランナー

(有)三企地盤

-Sanki Jiban Co.,Ltd

☎029-269-9230 FAX.029-269-9231

少ない資源とエネルギーで水環境を守る

フジクリーン CFI型

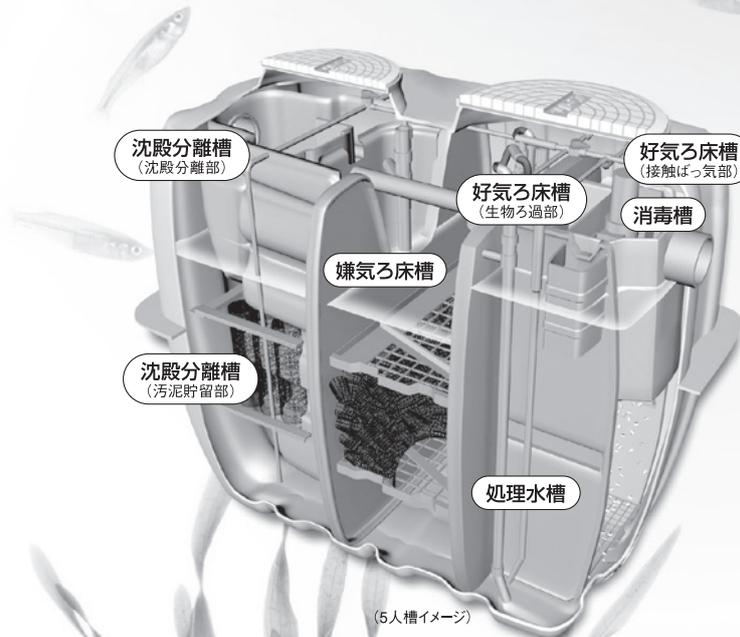
少ない資源とエネルギーで水環境を守る

沈殿分離・嫌気ろ床・好気循環方式

5・7・10人槽



単独から合併への転換対応浄化槽CFIシリーズ



(5人槽イメージ)

放流水質

BOD 15mg/ℓ 以下

S S 10mg/ℓ 以下

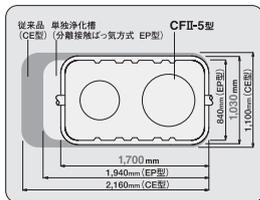
T-N 20mg/ℓ 以下

(財)日本建築センターによる性能評価値

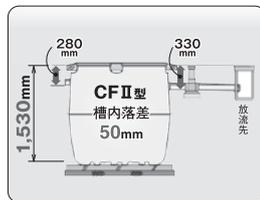
※BOD15mg/ℓ 以下は下水道放流水質基準と同程度です。

既設浄化槽からの転換もスムーズ!!

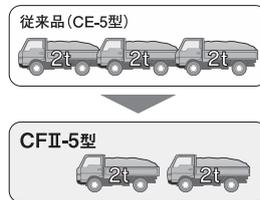
省スペース・浅埋型
(高さを1,530mmに統一)



レイアウトフリー
(槽内落差50mm)



施工性アップ
(残土処分量は約3割減少)



信頼の高機能プロフ
(環境省の省エネ基準をクリア)



タイマ付プロフ

美しい水を守る
フジクリーン工業株式会社

茨城営業所/茨城県つくば市上横場字細田 2573-89 〒305-0854
TEL: 029-839-2271 FAX: 029-839-2270

本社/名古屋市 支店・営業所/全国37ヶ所
<http://www.fujiclean.co.jp/>

茨城県地区販売会社
株式会社フジクリーン茨城

〒311-4164 水戸市谷津町細田1-21 水戸西流通センター内
TEL: 029-254-7777 FAX: 029-254-7778

<http://www.10.ocn.ne.jp/~fci-home>

建築士賠償責任 補償制度 (けんぱい)

平成26年改定

新たな2つの補償

補償内容の拡大の声に応じて誕生した、新しい「けんぱい」

これまでの「けんぱい」では、建築物に外形的かつ物理的な「滅失・破損」のない場合には、原則として補償されませんでした。例えば、構造計算ミスにより建築物が建築基準法に達していなかった場合に、建築物に外形的かつ物理的な「滅失・破損」が発生していなければ保険の対象外でした。

平成26年4月より、「法令基準未達補償」および「構造基準未達補償」の2つの補償を追加し、「滅失・破損」が発生しない場合でも一定の基準を満たさなかったために生じる損害に対応できるように改定することに致しました。

改定のイメージ

起 因 す る 賠 償 責 任	設計・監理業務に 関与する賠償責任	滅失・破損 あり	↑ 従来の けんぱい ↓	↑ 本年度の 標準セットプラン ↓ オプション
		建築設備が著しく機能を発揮できない場合の補償 (給排水設備、電気設備、空調設備、住宅の浴室仕様)		
	滅失・破損 なし	法令基準未達補償 New ※補償対象外とすることも可能です。		
				構造基準未達補償 New

新たに追加された2つの補償

● 法令基準未達補償

建築物の外形的かつ物理的な滅失または破損の有無にかかわらず、「所定の建築基準関連法令における基準」を満たさないことについての損害賠償責任を補償します。

● 構造基準未達補償

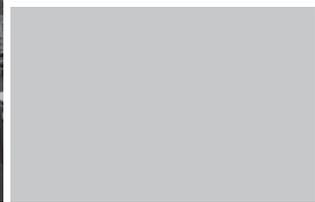
建築物の外形的かつ物理的な滅失または破損の有無にかかわらず、「建築基準法第20条1、2、3号建築物の構造基準」を満たさないことについての損害賠償責任を補償します。

※建築士賠償責任補償制度(けんぱい)の改定についてご紹介したものです。保険の内容は建築士賠償責任補償制度のパンフレットをご覧ください。

公益社団法人 日本建築士会連合会

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館 6階 TEL:03-3456-3273 FAX:03-3456-2067
http://www.kenchikushikai.or.jp/

設計・監理リスクに備えた
建築士会会員のための補償制度



三上建築事務所

Kazuhiko Mashiko Architect & MIKAMI Architects

所長 益子一彦

www.mikami-arc.co.jp

本社 〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-4-36
3-4-36 Ohmachi, Mito-city, Ibaraki, 310-0062 Japan

TEL 029-224-0606 FAX 029-226-3778
TEL +81-29-224-0606 FAX +81-29-226-3778

東京事務所 〒110-0015 東京都台東区東上野 1-1-1 O&K1.1.1ビル 4階
O&K1.1.1 Bldg., 4F, 1-1-1 Higashiueno, Taito-ku, Tokyo, 110-0015 Japan

TEL 03-5817-8184 FAX 03-5817-8194
TEL +81-(0)3-5817-8184 FAX +81-(0)3-5817-8194

九州事務所 〒310-0062 佐賀県佐賀市駅前中央 3-14-31 サンフィールド佐賀 401号
Sunfield Saga, 401, 3-14-31 Ekimaechuo, Saga-city, Saga, 840-0801 Japan

TEL 0952-37-7630



設計 & 監理

株式会社 柴 建築設計事務所

水戸市泉町3-1-28 第二中央ビル7階

TEL.029-227-0222[代]

FAX.029-231-0960



筑西市立協和中学校（北東側より）



一般社団法人
茨城県建築士会

<http://homepage1.nifty.com/ishikai/>